

産 創 第 48 号

平成 19 年 1 月 11 日

各 位

山形県産業創造支援センター所長

山形県産業情報化リーダー育成研修  
「ソフトウェア開発の品質管理」開催のご案内

日頃より山形県産業創造支援センターの研修事業にご理解いただき御礼申し上げます。

このたび当センターでは産業情報化リーダー育成研修事業として、標記「ソフトウェア開発の品質管理」～ IT スキル標準と成熟度指標 CMMI への取り組み ～ を開催いたします。みなさまから積極的にご参加いただけるよう、以下ご案内申し上げます。

記

1. セミナー案内 別紙

【連絡先】

デザイン・情報課 金内秀志

TEL. 023-647-8111 , FAX. 023-647-8118

# ソフトウェア開発の品質管理 ～ ITスキル標準と成熟度指標 CMMI への取り組み ～

主 催 山 形 県  
社団法人山形県情報産業協会

『受講のおすすめ』

## ITSS, CMM / CMMI 導入のまえに

デジタル家電や携帯電話に代表されるように、ソフトウェアには高いレベルのQCD（品質・コスト・納期）が求められており、開発プロセスを評価・改善する手法として「CMM/CMMI（capability maturity model/capability maturity model Integrated）」が注目されています。

経済産業省がまとめた「2005年版組込みソフトウェア産業実態調査報告書」によれば、「品質管理として採用している方法」に対し、約3割の企業が「CMMに準拠した標準的な管理プロセス」と答えています。これまでエンタープライズ系システム開発企業が中心となり、海外オフショアでの外注管理手法として世界標準のCMM/CMMIが普及してきましたが、近年は人材不足が深刻な組込み系システム開発においても検討されるようになり、反動として「CMM/CMMIは組込みに合わない」という批判も聞かれるようになりました。

実態はどうなのでしょう？ 本講演ではITスキル標準活用やプロジェクトマネジャー育成の事例と、ソフトウェアの品質を高める手段であるCMM/CMMIの取り組み方法についてご紹介します。IT業界において、人材不足に悩んでいる多くの方に参加をおすすめします。

## 記

1. 日 時 平成19年1月26日（金）15:00～16:30（1.5時間）
2. 会 場 山形県産業創造支援センター 多目的ホール  
山形市松栄1丁目3番8号 TEL：023-647-8111
3. 講 師 NECソフト株式会社 ITトレーニングセンター

センター長 福嶋 義弘（FUKUSHIMA, Yoshihiro）氏

### 【略歴】

昭和53年 日本電気ソフトウェア株式会社（現 NECソフト株式会社）入社。  
基本ソフト（コンパイラ）開発を担当。  
昭和61年 教育部門へ異動、それ以降教育、人材育成業務を担当。  
現在はITトレーニングセンター センター長。

ITSS（経済産業省 ITスキル標準）を社内の人事制度、人材育成制度に導入し、業界では先進事例として注目されている。その中心メンバーとして評価され、現在では経産省各種委員会、ITSSユーザー協会での推進活動を行っている。

- ・2005年度 ITSS評価ガイド委員会委員
- ・2005年度 ITSS研修ガイドライン策定委員会委員

その他活動

- ・2006年4月 静岡大学情報学部客員教授委嘱
- ・2006年4月 産業大学院大学教育諮問委員 & 客員教授委嘱
- ・ITSSユーザー協会理事、教育研修WG/人材マネージメント交流会主査

#### 4. 内 容

- ・ NEC ソフトにおける、ITSS に基づく人材育成と人事制度への適用
- ・ プロジェクトマネジャー (PM) 育成の方策
- ・ 成熟度指標 CMM/CMMI の解説と、取り組み方法について
- ・ 導入に当たってのポイント

5. 受講料 無 料

6. 定 員 40 名

7. 対 象 者 一般（どなたでもご参加できます）

8. 申し込み 次のいずれかでお申し込みください。※申込期限 平成 19 年 1 月 24 日（水）

Web から	以下の研修案内でフォーム入力ください <a href="http://www.aic.pref.yamagata.jp/">http://www.aic.pref.yamagata.jp/</a>
F A X	添付の申込書にご記入の上 FAX ください FAX 023-647-8118

#### 【用語解説】

※1 ITSS : Skill Standards for IT Professionals の略

IT 関連サービス分野（IT 業界、および一般企業や行政、教育・研究機関などの情報システム部門を含む）における職種と、必要とされる技能（スキル）を明確にするために、経済産業省が策定したスキル体系。IT サービスのプロフェッショナルを教育・訓練する際に有用な“ものさし”を提供することを目的に 2002 年に策定された。日本初の職業別スキル・スタンダードで、いわゆる「資格」とは異なる。

※2 CMM : Capability Maturity Model の略

米国カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所（CMU/SEI）によって開発された、ソフトウェアプロセスの開発を中心とした諸活動の成熟度を評価するためのモデル。組織の能力についてレベル 1～5 に分け、各レベルで持つべきプロセスを規定している（レベル 1「初期」⇒レベル 2「回復できる」⇒レベル 3「定義された」⇒レベル 4「管理された」⇒レベル 5「最適化する」）。

※3 CMMI : Capability Maturity Model integration の略

ソフトウェアプロセスを含め、システムエンジニアリング、統合プロダクト、調達に関しても成熟度を評価できるようにしたモデル。CMM と同様の段階モデルに加え、連続モデルがある。（CMU/SEI が開発）

---

※ 本講演は、山形県と社団法人山形県情報産業協会が主催するものです。

【問合せ先】 山形県産業創造支援センターデザイン・情報課  
TEL 023-647-8111、FAX023-647-8118  
金内 秀志 (KANAUCHI, Shushi)

FAX送信先 023-647-8118

平成18年度山形県産業情報化リーダー育成研修#8

「ソフトウェア開発の品質管理」研修受付担当宛

(詳細は、<http://www.aic.pref.yamagata.jp/> をご覧下さい)

## 講演会参加申込書

CMMI20070126

貴社名		
貴社住所	〒 - TEL : - - , FAX : - -	
代表者名	(役職、氏名)	
課程名	ソフトウェア開発の品質管理 ～ ITスキル標準と成熟度指標CMMIへの取り組み ～	
開催日	平成19年1月26日(金) 15:00～16:30	
会場	山形県産業創造支援センター 多目的ホール 〒990-2473 山形市松栄1-3-8 TEL023-647-8111	
受講料	無料	
受講者1	フリガナ	
	氏名	
	所属・役職	
受講者2	フリガナ	
	氏名	
	所属・役職	
受講者3	フリガナ	
	氏名	
	所属・役職	

【備考】申し込み期限 平成19年1月24日(水)までお申し込み下さい。

【連絡先】

山形県産業創造支援センターデザイン・情報課 TEL 023-647-8111  
開発研究専門員 金内 秀志 (KANAUCHI, Shushi)